

芸 術

| | |
|----|--------|
| 1年 | 音楽Ⅰ |
| 1年 | 美術Ⅰ |
| 1年 | 書道Ⅰ |
| 2年 | 音楽Ⅱ |
| 2年 | 美術Ⅱ |
| 2年 | 書道Ⅱ |
| 2年 | デッサン入門 |
| 2年 | 合唱Ⅱ |
| 3年 | ピアノ伴奏法 |
| 3年 | 合唱Ⅲ |
| 3年 | 音楽理論 |
| 3年 | 受験デッサン |

2020年度 シラバス

| 対象 | | 教科 | 科目名 | 単位 | | 担当者 |
|---------------|--|--|------|---|-----|-------|
| 1年生 特進コースIクラス | | 芸術 | 音楽 I | 選択必修 | 2単位 | 大森久美子 |
| 教科書 | 音楽之友社「ON!1」 | | | | | |
| 副教材 | プリント | | | | | |
| 授業のねらい | 英語の歌の曲想を理解した上で歌えるようになる。楽器(ギター)のコードを習得し演奏が出来るようになる。日本の歌について知り、歌詞の内容や文化背景を日本語(又は簡単な英語)で説明することで、言語技術の能力をつける。 | | | | | |
| 学習上の留意点 | <ul style="list-style-type: none"> ・歌唱と器楽では多くの実技課題が提示されます。意欲的・主体的に取り組みましょう。 ・器楽では学校の備品の楽器を使用します。大切に取り扱いましょう。 | | | | | |
| 評価方法 | 授業内での実技テスト(「歌唱」「器楽」)、筆記テスト、提出物、授業態度を総合的に評価。 | | | | | |
| 学習計画 | | 単元 | | 学習目標 | | |
| 1 学 期 | 4月 | 歌唱:校歌指導、Pops、日本の歌 | | 校歌指導を通して愛校心を育てる。校歌を英語で歌えるようにする。歌詞の内容を理解し、発音に注意して英語で歌えるようにする。 コードの知識を習得し、簡単な演奏ができるようにする。 日本の伝統的な歌を知り、歌えるようにする。簡単に歌詞の内容や曲の世界観を日本語または簡単な英語で説明できるようにする。 | | |
| | | 器楽:ギター | | | | |
| | 5月 | 歌唱:Disney songs、Pops、日本の歌 | | | | |
| | 6月 | 歌唱:Disney songs、Pops、日本の歌 器楽:ギター | | | | |
| | 7月 | 授業内テスト | | 伸び伸びとした良い発声で歌詞の内容を理解し、発音に注意して英語で歌えるようにする。 ギターで英語の歌が弾き語りできるようにする。 | | |
| 2 学 期 | 9月 | 歌唱:ミュージカル劇中の歌 | | 登場人物の心情を理解しながらミュージカル作品内の歌を歌えるようにする。 ミュージカルにおいて音楽と演劇、舞踏、舞台美術など他の芸術との結びつきを理解した上で、日本語字幕付きの英語音声で鑑賞する。 外国の民謡において、その時代背景や国の歴史等を理解しながら歌えるようにする。 ミュージックベルを通してグループ活動を行い、リズムカやアンサンブルする力を身に付ける。 | | |
| | 10月 | 鑑賞:ミュージカル「Sound Of Music」 ミュージカルの歴史 | | | | |
| | 11月 | 歌唱:ミュージカル劇中の歌、 外国の民謡 器楽:ミュージックベル | | | | |
| | 12月 | 授業内テスト | | | | |
| 3 学 期 | 1月 | 歌唱:外国の民謡、Pops、合唱曲 | | 伸び伸びとした良い発声で歌詞の内容を理解し、発音に注意して英語で歌えるようにする。 キーボードを使用してコードネームの理解 英語の曲で発音に注意し簡単な曲を弾き語りすることが出来たか | | |
| | 2月 | 器楽:コードネームについて | | | | |
| | 3月 | 授業内テスト | | | | |

2020年度 シラバス

| 対象 | | 教科 | 科目名 | 単位 | | 担当者 |
|--------------------------------|---|-----------------------------|------|--|-----|------------|
| 1年生 特進コースSクラス 1年生 進学コースAクラス | | 芸術 | 音楽 I | 選択必修 | 2単位 | 大森久美子・尾又好美 |
| 教科書 | 音楽之友社「ON!1」 | | | | | |
| 副教材 | プリント | | | | | |
| 授業のねらい | 音楽の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、独創的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。 | | | | | |
| 学習上の留意点 | <ul style="list-style-type: none"> ・音楽が好きで、音大・保育関係へ進学希望者は特に履修を勧めます。 ・歌唱と器楽では多くの実技課題が提示されます。意欲的・主体的に取り組ましましょう。 ・器楽では学校の備品の楽器を使用します。大切に取り扱いましょう。 | | | | | |
| 評価方法 | 授業内での実技テスト(「歌唱」「器楽」)、筆記テスト、提出物、授業態度を総合的に評価。 | | | | | |
| 学習計画 | | 単元 | | 学習目標 | | |
| 1 学 期 | 4月 | 歌唱: 発声 校歌指導 | | 斉唱曲をのびのびと歌わせ発声法を習得、読譜力の向上 校歌指導を通して愛校心を育てる。 | | |
| | 5月 | 器楽: 三線 | | 沖縄伝統楽器三線の習得度 和楽器についての仕組みや歴史、奏法の理解 | | |
| | 6月 | 歌唱: 斉唱曲、外国語曲 鑑賞: 世界の民族音楽 | | のびのびとした豊かな発声で歌えたか 世界の民族音楽への関心、理解度 | | |
| | 7月 | 授業内テスト | | | | |
| 2 学 期 | 9月 | 歌唱: 斉唱曲 | | のびのびとした豊かな発声で歌えたか 正確なリズムと音程で歌う事が出来たか | | |
| | 10月 | 鑑賞: オーケストラについて 劇音楽について | | 管弦打楽器の仕組み、奏法の理解度 作曲家・作品への理解度 | | |
| | 11月 | ミュージカル鑑賞 歌唱: 斉唱曲 | | 音楽と演劇、舞踏、美術など他の芸術との結びつきについて のびのびとした豊かな発声で歌えたか | | |
| | 12月 | 授業内テスト | | 正確なリズムと音程で歌う事が出来たか 和楽器についての仕組みや歴史、奏法の理解 | | |
| 3 学 期 | 1月 | 歌唱: 外国語曲、合唱曲 | | 歌詞の心情を把握し表現することが出来たか | | |
| | 2月 | 器楽: コードネームについて | | キーボードを使用してコードネームの理解 右手はメロディー、左手はコードで伴奏をつけて曲を弾くことが出来たか | | |
| | 3月 | 授業内テスト | | | | |

2020年度 シラバス

| 対象 | | 教科 | 科目名 | 単位 | | 担当者 |
|-------------|--|---|------|---|-----|------------|
| 1年生 全コース | | 芸術 | 美術 I | 選択必修 | 2単位 | 菅原英雄・海老根捺稀 |
| 教科書 | 日本文教出版「高校美術1」 | | | | | |
| 副教材 | プリント、参考作品 | | | | | |
| 授業のねらい | 観察によって様々な情報を受け止める力を養い、それらを自分のフィルターを通して表現する力を身につける。同時に作品を完成させる喜び、達成感を体験する。 | | | | | |
| 学習上の留意点 | 自然物を主な対象として、人間が安易に創造できない自然の持つバランスや生命力を感じ、いかに表現するかを模索する。モチーフの観察、参考作品の分析を繰り返し、総合的な観察力を身につける。 | | | | | |
| 評価方法 | 実習制作した作品、プリントなどの提出物。授業への取り組みで評価をつける。 (年間を通して作品の完成度では、構成力、工夫、表現力も評価する。) | | | | | |
| 学習計画 | | 単元 | | 学習目標 | | |
| 1 学 期 | 4月 | 「教科書の中のお気に入り作品を探そう」鑑賞模写 | | 鑑賞では、なぜ自分がその作品を選んだかを掘り下げ、自分探しの手がかりとする。 | | |
| | 5月 | 「立方体制作及び光と陰影を学ぶ」鉛筆素描 | | モチーフの形を観察によってとらえ、どのように表現していけば、「らしく」なるのかを考え、学ぶ。 | | |
| | 6月 | 「真珠の耳飾りの少女」素描模写 「校内風景画」(山本二三さん作) 水彩模写 | | モチーフの観察、参考作品の分析を繰り返し、自他の作品を見る機会を増やし観察力を身につける。 | | |
| | 7月 | | | | | |
| 2 学 期 | 9月 | 「日傘をさす女(モネ作)」水彩模写 | | モチーフの観察、参考作品の分析を繰り返し、自他の作品を見る機会を増やし観察力を身につける。 | | |
| | 10月 | 「風景を描く」水彩 | | | | |
| | 11月 | 「季節の風景や動植物をテーマにしたペーパーステンド制作」デザイン | | 素材の性質を理解したうえで表現の工夫を行う。 | | |
| | 12月 | | | | | |
| 3 学 期 | 1月 | 「ゴム版画制作」版画 | | テーマに基づき、教材の特性を生かし、工夫をして表現する。 | | |
| | 2月 | 「東野イメージポスター制作」デザイン | | 自ら情報を集め整理し、自分の思う東野をポスターとして表現する。情報収集や構成、色使いの工夫を心がける。 | | |
| | 3月 | | | | | |

2020年度 シラバス

| 対象 | | 教科 | 科目名 | 単位 | | 担当者 |
|-------------|--|----------------------|----------------------------|------|-----|------------|
| 1年生 全コース | | 芸術 | 書道 I | 選択必修 | 2単位 | 小池功一郎・助村明美 |
| 教科書 | 教育図書「書 I」 | | | | | |
| 副教材 | | | | | | |
| 授業のねらい | 毛筆の基本的な筆遣いを修得し、文字の造形や線の美に触れる。 | | | | | |
| 学習上の留意点 | 半紙・墨液は各自準備していただくが、詳細は最初の授業で伝達します。 | | | | | |
| 評価方法 | 授業での取り組み(真剣に何枚も授業時間内に練習できるか等)と、半紙作品の技術評価と出席の平常点も考慮します。 | | | | | |
| 学習計画 | | 単元 | 学習目標 | | | |
| 1 学 期 | 4月 | 漢字平仮名交じりの課題 | 平仮名・漢字(楷書)の基本的な筆遣いの習得。 | | | |
| | 5月 | 漢字平仮名交じりの課題 漢字の課題 | | | | |
| | 6月 | 漢字の課題 | | | | |
| | 7月 | | | | | |
| 2 学 期 | 9月 | 漢字・平仮名交じりの課題 | 平仮名・漢字(楷書)の基本的な筆遣いの技術を高める。 | | | |
| | 10月 | 漢字平仮名交じりの課題 | | | | |
| | 11月 | 漢字の課題 | | | | |
| | 12月 | | | | | |
| 3 学 期 | 1月 | 書初めの課題 漢字(楷書)の課題 | 半紙作品の完成度を高める。 | | | |
| | 2月 | | | | | |
| | 3月 | | | | | |

2020年度 シラバス

| 対象 | | 教科 | 科目名 | 単位 | | 担当者 |
|---------------|--|----------------------------|---|------|-----|------------|
| 2年生 進学コースAクラス | | 芸術 | 音楽Ⅱ | 選択必修 | 2単位 | 大森久美子・尾又好美 |
| 教科書 | 教育出版「音楽Ⅱ 改訂版 Tutti」 | | | | | |
| 副教材 | プリント | | | | | |
| 授業のねらい | 音楽の幅広い活動を通して創造的な表現力・鑑賞能力を伸ばすとともに、世界の文化・芸能を吸収し、平和を愛する心情を養う。 | | | | | |
| 学習上の留意点 | <ul style="list-style-type: none"> ・音楽が好きな生徒、音大・保育関係へ進学希望者は特に履修を勧めます。 ・歌唱と器楽では多くの実技課題が提示されます。意欲的・主体的に取り組みましょう。 ・器楽では学校の備品の楽器を使用します。大切に取り扱いましょう。 | | | | | |
| 評価方法 | 授業内での実技テスト(「歌唱」「器楽」)、筆記テスト、提出物、授業態度を総合的に評価。 | | | | | |
| 学習計画 | | 単元 | 学習目標 | | | |
| 1 学 期 | 4月 | 歌唱: 発声、原語曲、鑑賞曲 | 発声に気を付け、のびのびと歌うことが出来たか 原語や斉唱曲、鑑賞曲で表現力を身につけさせる。 | | | |
| | 5月 | 校歌指導 器楽: ギター | 校歌指導を通して愛校心を育てる。 コードネームの理解とストローク奏法の習得 | | | |
| | 6月 | 器楽: ギター | ギター伴奏で弾き語りをさせる。 | | | |
| | 7月 | 授業内テスト | | | | |
| 2 学 期 | 9月 | 歌唱: 発声、原語曲、鑑賞曲 創作: リズム | 原語や斉唱曲、鑑賞曲で表現力を身につけさせる。 リズム感、協調性を育てる。 | | | |
| | 10月 | 器楽: ブームワッカー 鑑賞: 世界の民族音楽 | 海外修学旅行を意識し、世界の民族音楽への理解を深める。 | | | |
| | 11月 | 器楽: ミュージックベル | ミュージックベルアンサンブルの習得度 | | | |
| | 12月 | 授業内テスト | | | | |
| 3 学 期 | 1月 | 歌唱: 英語の歌、合唱曲 | 英語の歌で、歌詞の意味や背景にある情景、心情に関心を 持たせ表現させる。 | | | |
| | 2月 | 鑑賞: クラシック作品 | 作曲者の生涯、作品の背景等、クラシック作品を通して豊かな 感性を育てる。 | | | |
| | 3月 | 授業内テスト | | | | |

2020年度 シラバス

| 対象 | | 教科 | 科目名 | 単位 | | 担当者 |
|---------------|--|-----------------------------|--|------|-----|------------|
| 2年生 進学コースAクラス | | 芸術 | 美術Ⅱ | 選択必修 | 2単位 | 菅原英雄・海老根捺稀 |
| 教科書 | 日本文教出版「高校美術2」 | | | | | |
| 副教材 | プリント、参考作品 | | | | | |
| 授業のねらい | 感じる事、考えた事、観察によって発見した事を第三者にその思いを伝えることを目標とし、同時に制作の喜び、感動を体験してもらいたい。 | | | | | |
| 学習上の留意点 | 自然物を主な対象物として、自然の持つダイナミズムや生命力を感じ観察を深め自分らしい表現を模索してゆく。モチーフの観察、参考作品の分析を繰り返し、観察力を身につける。自ら情報を集め、整理し、自分の思いを表現する構成を行う。 | | | | | |
| 評価方法 | 実習制作した作品、プリントなどの提出物。授業への取り組みで評価をつける。 (年間を通して作品の完成度では、構成力、工夫、表現力を評価する。) | | | | | |
| 学習計画 | | 単元 | 学習目標 | | | |
| 1 学 期 | 4月 | 「立方体を持った手を描く」鉛筆素描 | モチーフの形を観察によってとらえ、どういう風に表現していけば、「らしく」なるのかを考え模索する。 | | | |
| | 5月 | 「水辺のある風景(シスレー作)」を描く 水彩模写 | モチーフの観察、参考作品の分析を繰り返し、自他の作品を見る機会を増やし観察力を身につける。 | | | |
| | 6月 | 「モナリザ(レオナルド・ダビンチ作)」を描く 水彩模写 | | | | |
| | 7月 | | | | | |
| 2 学 期 | 9月 | 「マッチ棒工作」 | 素材の性質を理解したうえで表現の工夫を行う。空間や量を意識した表現を試みる。 | | | |
| | 10月 | | | | | |
| | 11月 | 「スクラッチボード制作」 | 素材の性質を理解したうえで表現の工夫を行う。 | | | |
| | 12月 | | | | | |
| 3 学 期 | 1月 | 「修学旅行の絵画制作」(水彩) | 総合的な学習の時間などで学んできて、現地に赴いた修学旅行の思いを伝える作品をつくる。構成、色使い表現方法に工夫し、伝えたい事を分かりやすく表現する。 | | | |
| | 2月 | 「上下左右対称の図形制作」(水彩) | 与えられた条件の中で、図形の形の面白さを模索しながら暖色や寒色や明度の関係も意識して計画的に制作をする。 | | | |
| | 3月 | | | | | |

2020年度 シラバス

| 対象 | | 教科 | 科目名 | 単位 | | 担当者 |
|---------------|--|-----------------|-----|--------------------|-----|------------|
| 2年生 進学コースAクラス | | 芸術 | 書道Ⅱ | 選択必修 | 2単位 | 小池功一郎・助村明美 |
| 教科書 | 教育図書「書Ⅱ」 | | | | | |
| 副教材 | | | | | | |
| 授業のねらい | 平仮名や漢字の行書に触れ、より深く文字の造形と毛筆の線の美を鑑賞する。 | | | | | |
| 学習上の留意点 | 半紙・墨液は各自準備していただくが、詳細は最初の授業で伝達。 | | | | | |
| 評価方法 | 授業での取り組み(真剣に何枚も時間内に練習出来るか等)と、半紙作品の技術評価と出席の平常点も考慮します。 | | | | | |
| 学習計画 | | 単元 | | 学習目標 | | |
| 1 学 期 | 4月 | 4月の課題 平仮名と行書 | | 平仮名と行書の筆遣いに触れる。 | | |
| | 5月 | 行書の課題 | | 行書の筆遣いの習得。 | | |
| | 6月 | 行書の課題 | | | | |
| | 7月 | | | | | |
| 2 学 期 | 9月 | 平仮名と行書 | | 行書の筆遣いのより高度な技術の習得。 | | |
| | 10月 | 行書の課題 | | | | |
| | 11月 | 行書の課題 | | | | |
| | 12月 | | | | | |
| 3 学 期 | 1月 | 書初めの課題 行書の課題 | | 半紙作品の完成度を高める。 | | |
| | 2月 | | | | | |
| | 3月 | | | | | |

2020年度 シラバス

| 対象 | | 教科 | 科目名 | 単位 | | 担当者 |
|---------------|--|--------------|--|----|-----|------|
| 2年生 進学コースAクラス | | 芸術 | デッサン入門 | 選択 | 2単位 | 菅原英雄 |
| 教科書 | なし | | | | | |
| 副教材 | プリント、参考作品 | | | | | |
| 授業のねらい | 難しいと思われているデッサンを、分かりやすく基礎から学び定着させる。デザイン的な課題制作を通して、他者への表現を考えさせる。自己表現の可能性を広げ描く楽しさを体験する。 | | | | | |
| 学習上の留意点 | 美術、デザイン系への進学希望者は、授業だけではなく放課後や自宅学習でもデッサンに取り組むようにして下さい。 | | | | | |
| 評価方法 | 実習制作した作品、プリントなどの提出物。授業への取り組みで評価をつける。 (年間を通して作品の完成度では、構成力、工夫、表現力を評価する。) | | | | | |
| 学習計画 | | 単元 | 学習目標 | | | |
| 1 学 期 | 4月 | 「静物デッサン」 | モノが複数置かれた状態の空間観察、表現を学ぶ | | | |
| | 5月 | 「文化祭のポスター制作」 | 文化祭のポスターやパンフレット表紙を対象に人に伝える事を意識しながら作品制作する。 | | | |
| | 6月 | 「飲み物のポスター制作」 | 既成の飲料を対象に、色と形で他者にいかに伝えるかを考えながら制作する。 | | | |
| | 7月 | | | | | |
| 2 学 期 | 9月 | | | | | |
| | 10月 | 「読書感想画制作」 | 本の感想を対象にして、平面にいかに表現するのかを構成を意識した表現を学ぶ。感想画コンクールへの出品。 | | | |
| | 11月 | | | | | |
| | 12月 | | | | | |
| 3 学 期 | 1月 | 「絵本制作」 | 絵本制作のための物語を作り、それに応じた絵や色や形を考え表現する。 | | | |
| | 2月 | | | | | |
| | 3月 | | | | | |

2020年度 シラバス

| 対象 | | 教科 | 科目名 | 単位 | | 担当者 |
|---------------|---|----------------------|--|----|-----|------|
| 2年生 進学コースAクラス | | 芸術 | 合唱Ⅱ | 選択 | 2単位 | 鈴木敬子 |
| 教科書 | 合唱曲集 | | | | | |
| 副教材 | プリント | | | | | |
| 授業のねらい | 声楽に関する基礎的な技術を習得させ、音楽性豊かな表現の能力を養う。 合唱を通して豊かな発声、表現力を身につけハーモニーの美しさや響きを感じ取らせる。 楽譜を読み取る力をつけさせ、細かな曲の背景・情景を表現出来る能力を養う。 | | | | | |
| 学習上の留意点 | 秋に行われる高校音楽祭に向けて、ハーモニーの美しさや響きを感じ、豊かな表現力を身につけていきたいと思えます。歌うことが好きな生徒は是非受講して下さい。 | | | | | |
| 評価方法 | 授業時間内に曲の音程やリズムの実技テストを行います。 | | | | | |
| 学習計画 | | 単元 | 学習目標 | | | |
| 1 学 期 | 4月 | パート分け 発声 | 声の高さを1人ずつチェックしパートを決める。 姿勢、呼吸の仕方に注意させる。 | | | |
| | 5月 | 簡単な2部合唱曲 | パートごとに音取り 合同練習 | | | |
| | 6月 | 3部又は4部合唱曲 音楽祭演目練習 | パートごとに音取り 合同練習 | | | |
| | 7月 | | | | | |
| 2 学 期 | 9月 | 発声 | 姿勢、呼吸の仕方に注意させる。 ブレスや記号にも気を配り、ハーモニー作りを目指す。 | | | |
| | 10月 | 3部又は4部合唱曲 音楽祭演目練習 | パートごとに音取り 合同練習 | | | |
| | 11月 | 3部又は4部合唱曲 音楽祭演目練習 | 歌詞の内容、意味を理解し表現させる。 暗譜をさせる。 | | | |
| | 12月 | | ステージマナー、鑑賞マナーについて徹底させる。 | | | |
| 3 学 期 | 1月 | ハーモニー練習 | パートの音をしっかりと取り、良い発声で声が出せているか。 | | | |
| | 2月 | ア・カペラ | ピアノ伴奏なしでも歌えるように、パート練習に重点を置く。 合同練習 | | | |
| | 3月 | | | | | |

2020年度 シラバス

| 対象 | | 教科 | 科目名 | 単位 | | 担当者 |
|-------------|---|-------------------|---|----|-----|------------|
| 3年生 進学コース | | 芸術 | ピアノ伴奏法 | 選択 | 2単位 | 大森久美子・鈴木敬子 |
| 教科書 | ヤマハミュージックメディア「ピアノ伴奏入門」 | | | | | |
| 副教材 | プリント使用 | | | | | |
| 授業のねらい | コードの仕組みや進行の仕方を理解し、ピアノ鍵盤を使って曲を豊かに表現する能力を育てる。楽譜を読み取る力をつけさせ、細かな曲の背景・情景を表現出来る能力を養う。 | | | | | |
| 学習上の留意点 | ピアノ演奏に必要な要素を基礎から学びます。音楽大学や音楽関係のコース、保育士の進学を希望する生徒は積極的に受講して下さい。 | | | | | |
| 評価方法 | 授業時間内に実技テストを行います。 | | | | | |
| 学習計画 | | 単元 | 学習目標 | | | |
| 1 学 期 | 4月 | ピアノ奏法基礎 コードの理解 | 指の使い方、楽譜の読み方について 長3度と短3度の和音、セブンスの作り方 | | | |
| | 5月 | 長調における主要三和音 | ハ長調、ヘ長調、ト長調の理解 簡単な旋律に伴奏をつけ演奏する | | | |
| | 6月 | 短調における主要三和音 | イ短調、ニ短調の理解 | | | |
| | 7月 | | 簡単な旋律に伴奏をつけ演奏する | | | |
| 2 学 期 | 9月 | 移調 | 様々な調性に対する理解 | | | |
| | 10月 | 非和声音 ベース音 | 和声音と非和声音の理解 転回形とアルペジオ奏法、左手の奏法についての理解 | | | |
| | 11月 | 伴奏実践 | メロディー譜に伴奏をつけ、演奏をする | | | |
| | 12月 | 伴奏実践 | メロディー譜に伴奏をつけ、演奏をする | | | |
| 3 学 期 | 1月 | | | | | |
| | 2月 | | | | | |
| | 3月 | | | | | |

2020年度 シラバス

| 対象 | | 教科 | 科目名 | 単位 | | 担当者 |
|-------------|---|----------------------|-----|--|-----|-------|
| 3年生 進学コース | | 芸術 | 合唱Ⅲ | 選択 | 2単位 | 大森久美子 |
| 教科書 | 合唱曲集 | | | | | |
| 副教材 | プリント | | | | | |
| 授業のねらい | 声楽に関する基礎的な技術を習得させ、音楽性豊かな表現の能力を養う。 合唱を通して豊かな発声、表現力を身につけハーモニーの美しさや響きを感じ取らせる。 楽譜を読み取る力をつけさせ、細かな曲の背景・情景を表現出来る能力を養う。 | | | | | |
| 学習上の留意点 | 秋に行われる高校音楽祭に向けて、ハーモニーの美しさや響きを感じ、豊かな表現力を身につけていきたいと思えます。歌うことが好きな生徒は是非受講して下さい。 | | | | | |
| 評価方法 | 授業時間内に曲の音程やリズムの実技テストを行います。 | | | | | |
| 学習計画 | | 単元 | | 学習目標 | | |
| 1 学 期 | 4月 | パート分け 発声 | | 声の高さを1人ずつチェックしパートを決める。 姿勢、呼吸の仕方に注意させる。 | | |
| | 5月 | 簡単な2部合唱曲 | | パートごとに音取り 合同練習 | | |
| | 6月 | 3部又は4部合唱曲 音楽祭演目練習 | | パートごとに音取り 合同練習 | | |
| | 7月 | | | | | |
| 2 学 期 | 9月 | 発声 | | 姿勢、呼吸の仕方に注意させる。 ブレスや記号にも気を配り、ハーモニー作りを目指す。 | | |
| | 10月 | 3部又は4部合唱曲 音楽祭演目練習 | | パートごとに音取り 合同練習 | | |
| | 11月 | 3部又は4部合唱曲 音楽祭演目練習 | | 歌詞の内容、意味を理解し表現させる。 暗譜をさせる。 | | |
| | 12月 | | | ステージマナー、鑑賞マナーについて徹底させる。 | | |
| 3 学 期 | 1月 | | | | | |
| | 2月 | | | | | |
| | 3月 | | | | | |

2020年度 シラバス

| 対象 | | 教科 | 科目名 | 単位 | | 担当者 |
|-------------|--|-----------------------|--|----|-----|------|
| 3年生 進学コース | | 芸術 | 音楽理論 | 選択 | 2単位 | 尾又好美 |
| 教科書 | 教育芸術社「音楽通論」 | | | | | |
| 副教材 | コールユーブンゲン(プリント使用) | | | | | |
| 授業のねらい | リズム、旋律、和声などの音楽の諸要素を正確に聴取し、楽譜を正確に読み取って表現する能力を育てる。「楽典」「聴音」「視唱」「視奏」によって、音楽性豊かな表現をするための基礎的能力を養う。 | | | | | |
| 学習上の留意点 | 音楽を演奏する上で、必要な要素を基礎から学びます。音楽大学や音楽関係のコースの進学を希望する生徒は積極的に受講して下さい。 | | | | | |
| 評価方法 | 授業時間内に「楽典」「聴音」「視唱」のテストを行います。 | | | | | |
| 学習計画 | | 単元 | 学習目標 | | | |
| 1 学 期 | 4月 | 導入 楽譜について、音符と休符 | 楽譜の読み方、書き方について 音符や休符の長さ、表現についての理解 | | | |
| | 5月 | リズムと拍子 | 五線や様々な音部記号の理解 様々な拍子とその特徴について | | | |
| | 6月 | 拍子と記譜 視唱 | 正しい記譜法について 8小節程度の簡単な旋律を視唱する。 | | | |
| | 7月 | 聴音 作曲家と作品 | 旋律や和音を聴いて楽譜に書き記す。 音楽史における著名な作曲家の作品鑑賞 | | | |
| 2 学 期 | 9月 | 音程 移調と近親調 | 様々な音程についての理解 関係調や移調、転調に関する仕組み | | | |
| | 10月 | 視唱 | 音階的進行、三和音の跳躍を中心とした視唱練習 各種音部記号の読譜を習得させる。 | | | |
| | 11月 | 和音、コードネーム 色々な記号、音階 | 和音の構成、コードの仕組み 速度や表現記号、様々な音階について | | | |
| | 12月 | 視唱 | 4和音の跳躍、臨時変化音を中心とした視唱練習 コールユーブンゲンを用いて視唱の演習 | | | |
| 3 学 期 | 1月 | | | | | |
| | 2月 | | | | | |
| | 3月 | | | | | |

2020年度 シラバス

| 対象 | | 教科 | 科目名 | 単位 | | 担当者 |
|-------------|--|--------------|--------------------------------------|----|-----|------|
| 3年生 進学コース | | 芸術 | 受験デッサン | 選択 | 2単位 | 菅原英雄 |
| 教科書 | なし | | | | | |
| 副教材 | プリント、参考作品 | | | | | |
| 授業のねらい | デッサンの魅力を知り、デッサンの基本や技法を習得したうえで、最終的には自己を表現することを模索してほしい。鉛筆等を使用して描き、幅広く観察する能力を養う受験に対応できる実力の基礎を身につける。 | | | | | |
| 学習上の留意点 | 美術、デザイン系への進学希望者は、授業だけではなく放課後や自宅学習でもデッサンに取り組むようにして下さい。 | | | | | |
| 評価方法 | 実習制作した作品、プリントなどの提出物。授業への取り組みで評価をつける。 (年間を通して作品の完成度では、構成力、工夫、表現力を評価する。) | | | | | |
| 学習計画 | | 単元 | 学習目標 | | | |
| 1 学 期 | 4月 | 「幾何形体デッサン」 | 幾何形体による、光と陰影の観察、表現を学ぶ | | | |
| | 5月 | 「静物デッサン」 | モノが複数置かれた状態の空間観察、表現を学ぶ | | | |
| | 6月 | 「石膏像デッサン」 | 確実な基礎力と表現力を身につける。 | | | |
| | 7月 | | | | | |
| 2 学 期 | 9月 | 「風景デッサン」 | 校内の風景を題材にして、鉛筆素描により観察力や表現力を学ぶ。 | | | |
| | 10月 | 「静物デッサン」 | どんな組み合わせのモチーフに対しても、対応できる実力の基礎を身につける。 | | | |
| | 11月 | 「テーマのあるデッサン」 | それぞれのテーマを元に題材を決めて表現するデッサンを制作する。 | | | |
| | 12月 | | | | | |
| 3 学 期 | 1月 | | | | | |
| | 2月 | | | | | |
| | 3月 | | | | | |